

## 2026 年度若手研究者アンサンブルグラント継続課題の公募について

東北大学研究所長会議 代表  
先端量子ビーム科学研究センター 大西 宏明

東北大学附置研究所若手アンサンブルプロジェクト  
ワーキンググループリーダー  
流体科学研究所 神田 雄貴

東北大学附置研究所若手アンサンブルプロジェクトでは附置研究所・センター連携体所属の若手研究者を中心とする部局間連携を促進するために、研究費の助成を行います。本「グラント継続課題」は「グラント新規課題」により取り組んでいる萌芽的な学術研究課題を基にして、さらなる発展が見込まれる継続的な研究に対して助成を行うものです。また、ランダム抽選である「グラント新規課題」では残念ながら不採択となってしまったプロジェクト（2024 年度または 2025 年度に応募したグループが対象）であっても「グラント新規課題」応募時よりもテーマの幅を広げる新展開が見込まれる場合は応募することができます。若手研究者による応募を歓迎しますが、共同研究者として研究グループへ参画する方については募集要項に記載された所属の要件を満たしていれば、身分等は問いません。積極的なご応募をお待ちしております。

## 公募要項

### 【研究期間】

2026年4月1日（予定）から2027年3月31日

### 【支援内容】

1 課題最大100万円、2 課題程度。採択後一定の期間を経て、研究代表者の所属する東北大学附置研究所・センター連携体の各部局に対して、配分されます。

### 【選考方法】

2026年2月20日（水）にオンラインにて開催される審査会においてピアレビューを行い、投票により決定します。詳細は「(補足資料2) 審査会の開催方法」をご確認ください。

### 【対象となる研究課題】

下記の2ついずれかを満たす研究グループにより実施される研究課題が対象となります。

- ・ 2024年度または2025年度の「若手アンサンブルグラント新規課題」に採択された研究グループ
- ・ 2024年度または2025年度の「若手アンサンブルグラント新規課題」のランダム抽選で不採択となった研究グループ（スクリーニングを通過しなかったグループは除く）

なお、上記を満たした上で「グラント新規課題」応募時よりもさらなる発展や、テーマの幅を広げるような新展開が見込まれることが必須となります。全領域の研究を対象とし異分野融合研究や学際研究は必須条件ではありません。また、既に同じ研究課題で他の研究費を獲得している場合は対象外です。また、応募は研究代表者・共同研究者を合わせて、1人1件のみとします。

### 【研究代表者の対象】

申請者（研究代表者）の対象は、東北大学附置研究所・センター連携体の各部局に所属するポスドク、助手、助教、講師、准教授（特任・特定を含む）とします。特に若手研究者の応募を歓迎します。研究代表者以外の共同研究者については、職名・身分の制限はありません（学外の研究者も可とします）が、学生の卒業・修了などにより複数部局のグループが研究期間の大半に構成されなくなる見込みが明確な場合は、対象となりません（後期課程などへ進学希望、ポスドクとして在籍予定などの場合は対象とします）。

## 【申請に関する注意事項】

### <グループ構成について>

- 「東北大学附置研究所・センター連携体の各部局」とは以下を指します。
  - ・ 金属材料研究所
  - ・ 加齢医学研究所
  - ・ 流体科学研究所
  - ・ 電気通信研究所
  - ・ 多元物質科学研究所
  - ・ 災害科学国際研究所
  - ・ 東北アジア研究センター
  - ・ 学際科学フロンティア研究所
  - ・ 材料科学高等研究所
  - ・ 先端量子ビーム科学研究センター
  - ・ 未来科学技術共同研究センター
  - ・ 国際放射光イノベーション・スマート研究センター
- 研究代表者は上記の各部局のいずれかにおいて本学の予算管理システムを使用可能であることが必須です。
- 「グラント新規課題」応募時の研究グループに新しいメンバーを追加することが可能です。また、主要なメンバーが存続するのであれば、一部のメンバーが離脱していても構いません。メンバー変更の理由は申請書に記載して下さい。
- 「グラント新規課題」応募時にスクリーニングを通過している場合は、本「グラント継続課題」においても申請対象となります。メンバー変更がある場合は「(補足資料3) 研究グループ構成の詳細」をよく読み、研究グループ構成に問題がないかご確認下さい。
- 学生を共同研究者とする場合、学生の所属が申請代表者と異なる場合でも、主な活動拠点(例：研究室)が同一部局である場合は複数部局とはみなしません。
- 申請代表者・分担者のメンバー構成が申請対象に該当するかどうか判断が難しい場合は、締切前に余裕を持って若手アンサンブルプロジェクトワーキンググループ (WG) にご確認ください。

### <申請の制限について>

- 応募は1人1件のみ(研究代表者・共同研究者あわせて)とします。
- 昨年度に継続課題に採択された研究代表者および共同研究者を選考の対象から除外します(表1)。

表 1 重複制限(過去の採択)について

申請者の状況	申請先	2025 年度 新規課題	2026 年度 継続課題
	継続課題(昨年度に採択)		NG

<その他>

- 提出後の申請書の修正は原則認めません。書き間違い等にご注意ください。
- 申請内容に虚偽がある場合、選考から除外し、今後一切の申請を認めません。
- 募集要項を満たしていない申請
  - メンバー構成が複数部局に該当しない場合。申請者自身で明確に判断できない場合は、締切前に余裕を持って WG に確認してください。
  - 申請代表者が東北大学附置研究所・センター連携体の各部局に所属するポスドク、助手、助教、講師、准教授（特任・特定を含む）でない場合。
  - 申請書の様式が守られていない場合。
  - 最低限の研究内容が示されていない申請。
  - 必要経費内訳に正当性の無い申請。

【応募方法】

所定の書式を用いて申請書を作成し、PDF に変換の上、締切日までに研究代表者が下記 URL のフォームより送信してください。申請書の詳細については「(補足資料 1) 申請書の書き方」をご確認下さい。

<https://forms.gle/VbLVu92RN2shHRTaA>

〆切：2026 年 1 月 30 日（金）

【成果報告】

研究期間終了後、所定様式の成果報告書の提出が義務づけられます。提出〆切は 2027 年 5 月を予定しています。成果報告書の内容は若手研究者アンサンブルプロジェクトのウェブサイトで公開されます。また、2026 年度中に開催予定のワークショップにおいて研究の着想や研究成果の発表が義務となります。なお、成果の公表の際には、本公募プログラムの支援によるものであることを記載してください。

成果報告書の未提出、ワークショップへの発表が無い場合は、次年度以降の新規課題および継続課題の審査の対象外とします。

**【研究代表者および共同研究者の所属機関変更について】**

研究期間中に研究代表者や共同研究者の所属が変更になった場合は、出来るだけ早く東北大学研究所若手アンサンブルプロジェクト WG までご連絡をお願いします。

なお、申請前の時点で、研究期間中に研究代表者や共同研究者の所属機関変更が明らかであり、募集要項を満たさなくなることが明白な場合は、申請をお控えください。

**【研究期間の変更について】**

研究代表者の海外赴任や休暇等に係る研究期間の変更は認めておりません。ただし、研究代表者の交代など、柔軟に対応させていただきますので、事前に東北大学研究所若手アンサンブルプロジェクト WG までご連絡をお願いします。

**【取扱い】**

安全衛生管理ならびにネットワーク管理、研究不正防止、法令順守などについて、本学ならびに所属部局にて実施運用しているすべての規則・指導に準拠して研究を実施していただきます。なお、これらを逸脱していると判断される場合には支援を中止させていただきます。

**【連絡先】**

本公募に関してご不明な点は、東北大学研究所若手アンサンブルプロジェクト WG (ensemble\_secretariat [at] @grp.tohoku.ac.jp) までご照会ください。

## (補足資料 1) 申請書の書き方

### 1. 研究題目

簡潔に研究内容がわかる題目にして下さい。

### 2. 研究グループ構成

研究代表者と共同研究者について、氏名と所属・職位、主な活動部局（研究所および研究室など）を記載してください。「共同研究者」の欄は必要に応じて増減して下さい。兼任や兼務などで所属部局が複数ある場合は「所属・職位（兼業・兼務先がある場合）」の欄に必ず記載して下さい。

学際科学フロンティア研究所所属のメンバーはメンター部局を同欄に記載して下さい。また、主として研究を実施している活動部局を「主な活動部局」に記載して下さい。本項目のページ制限はありません。

### 3. 研究内容

「グラント新規課題」応募時の内容をもとに、これまで行ってきた研究の背景、研究内容、進捗状況を記載して下さい。研究グループ構成に関して、チームを組む必要性和各メンバーの担当内容を説明して下さい。

「グラント新規課題」応募時からメンバーの変更がある場合は本項目に理由を記載して下さい。また、本グラントにより取り組む研究の計画、研究方法、期待される成果等を記載して下さい。同様の研究課題で他の研究費を獲得している場合は、適当な箇所に本申請との違いを述べて下さい。

本項目は2ページ以内にまとめて下さい。図表を用いても構いません（カラー可）。

### 4. 研究経費

研究経費は設備費、消耗品費、旅費、謝金・人件費、その他の費目に分け、各費目について、金額と内訳を入力してください。本研究の遂行に必要なものに限り、研究室運営のための経費や、他の研究の経費として計上することがふさわしいと考えられる支出は認められません。本項目のページ制限はありません。

## (補足資料 2) 審査会の開催方法

審査会は下記の通り、開催されます。

### 【審査会】

- ・ 日程：2026年2月20日（金）
- ・ 場所：オンライン（URLは参加者にお知らせします）
- ・ 申請申込〆切：2026年1月30日（金）

### 【発表方法】

- ・ 申請書は事前に参加者全員に公開されます。
- ・ 各申請課題につき、発表10分+質疑応答10分とします。
- ・ 発表者は研究代表者か共同研究者のいずれかである必要があります。

### 【投票方法】

- ・ 審査は投票により実施し、投票権は、①若手アンサンブルプロジェクトワーキンググループ委員、②継続課題に申請のあった研究代表者または共同研究者にあります。
- ・ 研究代表者と共同研究者はご自身の研究課題には投票することはできません。
- ・ なお、投票の条件はすべての発表を聴講していることです（発表ごとに出欠を確認します）。
- ・ 研究課題を申請したグループは1研究グループにつき1件の投票が義務です（投票者が研究代表者であるか共同研究者であるかは問いません）。投票がない研究グループは選考外となります。なお、研究グループ内で複数投票してしまった場合は取り消しできませんのでご注意ください。

(補足資料 3) 研究グループ構成の詳細

研究グループは東北大学附置研究所・センター連携体の部局に所属する研究者を代表とし、学内の複数部局にわたるグループである必要があります。主な活動拠点が同一部局である場合は複数部局とはみなされません。上記を満たしていれば他大学のメンバーを含んでいても構いません。また、人数に制限はありません。

【研究グループ構成の例】

	NG	OK
例	研究代表者（電気通信研究所）	研究代表者（電気通信研究所）
	共同研究者 1（電気通信研究所）	共同研究者 1（金属材料研究所）
理由	複数部局から構成されていない	複数部局から構成されている

	NG	OK
例	研究代表者（電気通信研究所）	研究代表者（電気通信研究所）
	共同研究者 1（電気通信研究所）	共同研究者 1（工学研究科）
	共同研究者 2（他大学）	共同研究者 2（他大学）
理由	学内の複数部局から構成されていない	学内の複数部局から構成されている

	NG	OK
例	研究代表者（電気通信研究所）	研究代表者（電気通信研究所）
	共同研究者(学生含む) (工学研究科/電気通信研究所)	共同研究者(学生含む) (工学研究科/流体科学研究所)
理由	複数部局から構成されていない	複数部局から構成されている

	NG	OK
例	研究代表者 (電気通信研究所、XX 研究室)	研究代表者 (電気通信研究所、XX 研究室)
	共同研究者(学生含む) (工学研究科、XX 研究室)	共同研究者(学生含む) (工学研究科、YY 研究室)
理由	いずれの研究者も主な活動拠点が同じ研究所であり学内の複数部局から構成されていない	複数部局から構成されている

	NG
例	研究代表者（電気通信研究所）
	共同研究者 1（金属材料研究所、電気通信研究所） ※主な活動拠点は電気通信研究所
	共同研究者 2（材料科学高等研究所、電気通信研究所） ※主な活動拠点は電気通信研究所
理由	いずれの研究者も主な活動拠点が同じ研究所であり 学内の複数部局から構成されていない

**【研究代表者が学際科学フロンティア研究所である場合】**

本プロジェクトワーキンググループでは学際科学フロンティア研究所の研究者は「メンター部局」が主な活動拠点であるとみなします。また、学際科学フロンティア研究所同士のグループは他部局同様に対象外です。グループ構成の際にはご注意ください。

	NG
例	研究代表者（学際科学フロンティア研究所） ※メンター部局は工学研究科
	共同研究者 1（工学研究科）
理由	複数部局から構成されていない

	NG
例	研究代表者（学際科学フロンティア研究所） ※メンター部局は工学研究科
	共同研究者 1（学際科学フロンティア研究所） ※メンター部局は理学研究科
理由	複数部局から構成されていない